

本所の第四回通常議員総会
は六月二十日午後二時から
本所三階ホールで開会、
第一号議案昭和四十一年度
事業報告について、第二号
議案昭和四十一年度収支決
算報告について、永田専務
理事からそれぞれ内容の概
略について説明があり、原案
どおり承認され、このあと
黒田監事から監査報告があ
りました。

第三十一回常議員会
は六月二十日午後一時から本
所三階ホールで開会、第一
号議案昭和四十一年度事業
報告について、第二号議案
昭和四十一年度収支決算報
告について、永田専務理事
からそれぞれ内容の概略に
ついて説明があり、原案ど
おり承認され、午後二時開
会しました。

第31回常議員会

本所の第四回通常議員総会
は六月二十日午後二時から
本所三階ホールで開会、
第一号議案昭和四十一年度
事業報告について、第二号
議案昭和四十一年度収支決
算報告について、永田専務
理事からそれぞれ内容の概
略について説明があり、原案
どおり承認され、このあと
黒田監事から監査報告があ
りました。

第三十一回常議員会
は六月二十日午後一時から本
所三階ホールで開会、第一
号議案昭和四十一年度事業
報告について、第二号議案
昭和四十一年度収支決算報
告について、永田専務理事
からそれぞれ内容の概略に
ついて説明があり、原案ど
おり承認され、午後二時開
会しました。

正副部会長を選任

新発足の本所10部会

本所は六月二十日午後二時
から本所三階ホールで開会、
第一号議案昭和四十一年度
事業報告について、第二号
議案昭和四十一年度収支決
算報告について、永田専務
理事からそれぞれ内容の概
略について説明があり、原案
どおり承認され、このあと
黒田監事から監査報告があ
りました。

議員定数を90人に
常議員増も承認

本所の第四回通常議員総会
は六月二十日午後二時から
本所三階ホールで開会、
第一号議案昭和四十一年度
事業報告について、第二号
議案昭和四十一年度収支決
算報告について、永田専務
理事からそれぞれ内容の概
略について説明があり、原案
どおり承認され、このあと
黒田監事から監査報告があ
りました。

函館商工会議所会報

発行所
函館市大手町三番二十一号
函館商工会議所
電話代表 23-1181
発行人 高橋 勉
電話 23-1181

本所、産業会館へ移転

本所は六月二十日午後二時
から本所三階ホールで開会、
第一号議案昭和四十一年度
事業報告について、第二号
議案昭和四十一年度収支決
算報告について、永田専務
理事からそれぞれ内容の概
略について説明があり、原案
どおり承認され、このあと
黒田監事から監査報告があ
りました。

本所は六月二十日午後二時
から本所三階ホールで開会、
第一号議案昭和四十一年度
事業報告について、第二号
議案昭和四十一年度収支決
算報告について、永田専務
理事からそれぞれ内容の概
略について説明があり、原案
どおり承認され、このあと
黒田監事から監査報告があ
りました。

本所は六月二十日午後二時
から本所三階ホールで開会、
第一号議案昭和四十一年度
事業報告について、第二号
議案昭和四十一年度収支決
算報告について、永田専務
理事からそれぞれ内容の概
略について説明があり、原案
どおり承認され、このあと
黒田監事から監査報告があ
りました。

昭和42年度函館商工会議所収支予算 総括(一般会計・特別会計)

科 目	総括 42年度予算額	42年度決算額内訳				総括 41年度予算額	比 較 増減(△)
		一般会計	法定台帳	商工技術	相談所		
会 費	13,480,000	13,480,000				10,571,000	2,909,000
特別会費	5,670,000	5,670,000				5,865,000	△ 195,000
過年度会費	300,000	300,000				150,000	150,000
負担金	2,020,000		2,020,000			840,000	1,180,000
過年度負担金	0		0			0	0
議員特別負担金	6,800,000	6,800,000				6,800,000	300,000
補助金	6,540,000				6,540,000	6,240,000	△ 477,000
使用料手数料	2,060,000			2,060,000		2,537,000	△ 880,000
旧館収入	1,680,000	1,680,000				800,000	1,200,000
雑収入	1,200,000	1,200,000				750,000	△ 450,000
前年度繰越	1,662,000	1,662,000				5,410,000	△ 3,748,000
計	41,712,000	31,092,000	2,020,000	2,060,000	6,540,000	33,163,000	8,549,000
法定台帳振替金						1,200,000	△ 1,200,000
繰入金	2,459,000				2,459,000	2,258,000	201,000
果 計	44,171,000	31,092,000	2,020,000	2,060,000	8,999,000	36,621,000	7,550,000

支 出 の 部

科 目	総括 42年度予算額	42年度決算額内訳				総括 41年度予算額	比 較 増減(△)
		一般会計	法定台帳	商工技術	相談所		
給 与 費	17,755,000	11,300,000	858,000	432,000	5,165,000	15,419,000	2,336,000
(1)俸 給	11,937,000	7,645,000	567,000	286,000	3,439,000	10,439,000	1,498,000
(2)諸 手 当	1,842,000	1,106,000	105,000	51,000	580,000	1,500,000	342,000
(3)賞 与	3,976,000	2,549,000	186,000	95,000	1,146,000	3,480,000	496,000
福利厚生費	920,000	592,000	47,000	24,000	257,000	850,000	70,000
旅 費	832,000	832,000				782,000	50,000
所 費	1,446,000	1,446,000				1,492,000	△ 46,000
(1)通 信 費	485,000	485,000				485,000	0
(2)消耗品費	110,000	110,000				110,000	0
(3)図書費	255,000	255,000				255,000	0
(4)印刷費	142,000	142,000				70,000	72,000
(5)光熱費	237,000	237,000				295,000	△ 58,000
(6)備品費	30,000	30,000				50,000	△ 20,000
(7)保険料	167,000	167,000				42,000	125,000
(8)借地料	0	0				105,000	△ 105,000
(9)修繕費	20,000	20,000				80,000	△ 60,000
会 議 費	120,000	120,000				120,000	0
事 業 費	9,586,000	3,524,000	1,115,000	1,604,000	3,343,000	9,323,000	263,000
交 際 費	420,000	420,000				470,000	△ 50,000
公 課 金	898,000	898,000				1,100,000	△ 202,000
共 済 掛 金	482,000	316,000			166,000	404,000	78,000
退職給与積立金	360,000	292,000			68,000	1,289,000	△ 929,000
雑 費	235,000	235,000				230,000	5,000
選 挙 費	500,000	500,000				0	500,000
ビ ル 共 通 費	1,800,000	1,800,000				0	1,800,000
予 備 費	6,358,000	6,358,000				1,684,000	4,674,000
計	41,712,000	28,633,000	2,020,000	2,060,000	8,999,000	33,163,000	8,549,000
法定台帳振替金						1,200,000	△ 1,200,000
交 付 金	2,459,000	2,459,000				2,258,000	201,000
果 計	44,171,000	31,092,000	2,020,000	2,060,000	8,999,000	36,621,000	7,550,000

函館市主要小売物価

(6月15日現在)

函館商工会議所調査課

品	目	単位	本月価格	指数 35年平均100	前月比
総平均	(190品目)			124.3	98.4
食料品	(90品目)			128.6	96.7
うるち米	(非配給)	1kg	140.0	158.2	
粉・粉製品	(3品目)			131.0	100.0
野菜	(14品目)			173.3	77.3
甘しよ		1kg	80.0	245.7	133.3
ばれいしよ		〃	70.0	285.0	134.6
キャベツ		〃	40.0	133.6	59.7
ほうれん草		〃	70.0	131.1	218.8
ねぎ		〃	160.0	288.0	155.3
大根		〃	53.0	181.1	58.9
玉ねぎ		〃	53.0	176.7	57.0
にんじん		〃	140.0	374.7	200.0
果物	(9品目)			139.6	139.5
夏みかん		〃	90.0	121.4	138.5
りんご(国光)		〃	85.0	126.0	113.3
鮮魚介	(12品目)			150.7	72.2
まぐろ		100g	93.0	172.0	97.9
さけ(切身)		〃	3.5	50.0	119.6
いか		〃	9.0	158.2	30.0
乾物	(5品目)			106.1	100.0
煮干		〃	35.0	132.6	
干のり		1帖(10枚)	200.0	132.4	
畜産食品	(9品目)			139.9	99.8
牛肉		100g	150.0	242.4	
ぶた肉		〃	70.0	119.3	
鶏卵		〃	23.0	86.5	92.0
調味料	(8品目)			121.2	100.0
しょう油		1本	200.0	134.9	
味噌		1kg	110.0	154.1	
砂糖		〃	140.0	92.2	

特定商工業者

特定商工業者

本会議所では昭和四十二年度の特定商工業者法定台帳を作成のため法定台帳の提出方と負担金の同意をお願い中であります。が業者の皆様のご協力とご理解を頂くため特定商工業者とはまた法定台帳とはどういふものかについて次にご説明いたします。

◇特定商工業者とは本商

法定台帳とは？

工會議所の地区である函館市に營業所、事務所、工場または事業所を持つ資本金五十万円以上の法人と事業税、釧産税年額四万八千円以上を納める法人または個人商工鉦業者であります。特定商工業者制度は商工會議所法（昭和二十八年公布）により地域經濟団体としての商工會議所の性格をより一層強化して地域内商工業の改善發展を図るために設

業經濟の振興と發展に資する重要な資料となるものであり、法令で定められておりますので是非ご提出下さいますようお願いいたします。

◇負担金とは特定商工業者法定台帳を作成管理し効果的に運用するための費用として国が定めたもので一年間一、二〇〇円であります。本所会員で且つ特定商工業者の方は従來負担金を頂いておりませんでした

計算尺検定合格者

五月二十一日行なわれた
本所主催第二十六回計算尺
技能検定試験の各級合格者
次のとおり。

- ▽2級 岩谷健治、工藤道雄、新保喜八郎、浅利邦雄、小栗勉、魚山喜明、諸岡均（以上七人）

▽3級 鈴木民男、鈴木賢治、長坂高志、野村定雄、伊勢谷元秀、大沢邦章、渡辺亨、門脇博保、小野一雄、佐々木秀世、高木敏明、西根光信、高橋勝、扇谷隆夫、竹田俊春、裏田雅頭船登、万、土岐紀幸、斎藤司、沢木俊己、川口修一、竹田和男、佐藤信幸、村上清治、石原光則、村田恒夫、山田徳一、梅本武吉、斎藤勝男、西山啓治（以上三十一人）

▽4級 松岡高志、林淑夫、笈川修三、水上功一、沢田品久、坂田秀喜、永井三紀夫、田中教一、佐藤政義、佐藤隆司、佐々木秀世、矢木田政雄、中野唯史、穴戸康人、能登幸治、山崎周高坂順一、長谷川元康、佐鯉誠、加賀勉、細谷健一、村下和夫、岩船秋男、野呂雅弘、甲谷努、大和田尚、松本一彦、川崎勝秀、笹森敏久、伊勢谷修、遠藤文次、村上清治、山田元厚、池田隆一、小川克美、村田恒夫、菊池敏郎、嵐領二、嶋村秀史、坂本恵一、高橋和男、館岡好美、佐賀満、中村公一、谷口賢司、山田あつ子、金谷幸典、西山啓治（以上五十人）

▽5級 松岡高志、林淑夫、木田茂樹、福田傑、中野唯史、笹木正己、寺谷誠、長尾均、山崎康男、秋葉俊伸、青木修治、山田あつ子（以上十二人）

▽6級 時田司、柿崎重明、中川裕史、平山和久、長内勝彦、笹木正己、大谷治身、渋谷雄司、長尾均（以上九人）

簿記検定合格者

六月十一日行なわれまし
た本所主催の第二十六回簿
記検定試験の合格者は次の
とおり。なお一級合格者の
発表は多少おくれれます。

▽2級 荒谷守人、鎌田政則、松市邦雄、松村謙、竹田兼昌、堀内満春、三橋守、石戸幹春、小田真市、阿部政紀、福田洋子、田中由美子、小野寺みね子、野呂和子、柴田透、小松典子、原道子、佐々木正治、柳谷勝広、海老名至、浜田正則、斎藤邦雄、宮原友子、相沢美代子、大良一恵、小野幸子、原由美子、小林房江、工藤加代子、墓目薫、柳谷庫司、格口博、林章公、小川雄一、今井義憲、栗原香代子、鈴木桂子、二間穂波正木俊夫、対馬良司、扇谷啓子、加藤昭博、矢戸忠（以上四十三人）

▽3級 駒木秀子ほか二
百十九人

▽4級 堀川円ほか二百
三人

簿記検定合格者

六月十一日行なわれまし
た本所主催の第二十六回簿
記検定試験の合格者は次の
とおり。なお一級合格者の
発表は多少おくれまゝ。

報 會 所 議 會 工 商 館 函

昭和42年 6 月30日 (2)

函館港工業地帶造成

昭和42年6月30日 (2)

わが国築港の最高権威者は東大教授工学博士広井勇先生であらう。その門下生の中から小樽築港事務所長伊藤長右衛門技師をはじめ幾多の後英が輩出し、わが国港湾建設の基礎を固めたのであった。

本道においても前記伊藤氏をはじめ函館築港事務所長荒木四郎氏や室蘭築港事務所所長中村廉次氏等がありずれも本道港湾の今日の土台を築かれた功労者である。中村廉次氏はその後、



計画案の出来るまで

激な変転にともない函館の生命である港の整備は急務中の急務であると考え、これが再建を提唱すること十数年に及んでいるが、いかんせん素人の悲しさ、これを専門的に立案できず荏苒時日を空しうしていたのである。偶々昭和四十年二月頃開催の函館商工会議所の広域経済圏建設委員会（委員長長森議員）で港湾問題について懇談中、松本議員から関昌作氏が当市に在住のことを承わり私は小躍り

専門家の多集を企て、
案」を提示し賛成を得て初
めて函館商工会議所案とし
て広域経済圏建設委員会お
よび常議員会の議決を経て
公表することに決定したの
であった。

以上が函館商工会議所案
として同計画を発表するに
至るまでの経緯である。

世評に同計画案は田中個
人の人夢物語であるとの
悪評もあるやに聞いている
が、発表までにはそれ相当
の苦心と推敲の積み重ねが

田中誠一郎

あつたことを敢えてここに明記しておく次第である。さてこの原稿が『第一印象』にまわり、やがて製本ができあがつた時、私はまず第一にこの喜びを関氏に伝えようと思った矢先き、全く予想だにできなかった同氏の急逝が奥様から伝えられ、私は人の世のはかなさにしばしば茫然自失の態たらくであつた。お通夜の日私はまだインクの香も残る同計画案を霊前に捧げ心から関冥福を祈り

制第四高校理科甲類を経て
東大工学部土木工学科入学
昭和四年三月同大卒▽同四
年四月道庁入り、同九年九
月北海道庁技師同一三年港
灣課首席技師、商港、工業
港担当、苫小牧、石狩、銭
函工業港の計画を立案▽同
一三年北海道庁を退職、満
州国交通部遼河治水調査勤
務▽同一年交通部大東港
建設局航路科長、鴨綠江河
口港の航路建設計画を立案
▽同三三年技術士試験（建
設部門港灣）合格。

人の使い方

全国的な求人難というのに採用者側は今の学生や生徒が企業のようなところに注目して就職先を選んでいるかの実態となると、あまり知っていないようである。そこで中学生、高校生、大学生の男女がそれぞれどういった点に注目しているか大体の考え方を紹介しよう。

学生は何を望むか

これが大学生となる
とまた変わって選択も
自主的になるが、男は会社
の知名度や将来性の多い企
業か否かに関心が強くなる
し、女子は仕事の内容で退屈
し、勤務時間などに関心が
高くなるようである。

このほかにエンプロイメ
ント・イメージというのも
相当の影響を与えるようであ
る。これは『良い会社』と
とか『特色のある会社』と
かといった一般的なイメージ
のことである。

(会議所ニュースから)
